

産業建設委員会会議録

日時 令和4年6月20日（月曜日）

午前10時10分開会 午前11時40分閉会

場所 第1委員会室

日程

- 1 開会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議・説明事項
 - (1) 議案第46号 市道の路線の認定について
 - (2) 議案第47号 市道の路線の変更について
 - 4 報告事項
 - (1) 入札案件について
 - (2) 工事発注状況報告について
 - 5 その他
 - (1) プレミアム付商品券発行事業業種別売上及び販売状況について
 - (2) 県道小野土浦線バイパス整備について
 - (3) 市道虫掛66号線の供用開始について
 - (4) 公共下水道管渠調査に基づく対策工事について
 - 6 閉会
-

出席委員（8名）

委員長 平石 勝司
副委員長 柏村 忠志
委員 内田 卓男
委員 寺内 充
委員 矢口 清
委員 柳澤 明
委員 小坂 博
委員 勝田 達也

説明のため出席した者（12名）

副市長 片山 壮二 産業経済部長 佐藤 亨

都市政策部長	船沢 一郎	建設部長	渡辺 善弘
商工観光課長	沼尻 健	農林水産課	黒須 清一
都市計画課長	飯泉 貴史	都市整備課長	福澄 雄祐
道路管理課長	浅岡 武徳	道路建設課長	草間 正志
水道課長	滝田 昌暁	水道課長	和田 利昭

傍聴者 0名

事務局職員出席者 松本 裕司

○平石委員長 ただ今から産業建設委員会を開催いたします。議案第46号市道の路線の認定について、説明願います。

○浅岡道路管理課長 道路管理課でございます。36ページをお願いいたします。議案第46号市道の路線の認定につきまして、御説明いたします。37ページをお願いいたします。市道の認定につきましては、新治南528号線、529号線、虫掛67号線、真鍋四丁目13号線、中村南五丁目10号線の5路線でございます。38ページをお願いいたします。はじめに、新治南528号線、529号線でございますが、県道小野土浦線から新治南314号線までの区間で、現在茨城県で進めている県道小野土浦線バイパス整備工事で側道区間を茨城県から引き継ぐに当たり、市道を認定するものです。路線の概要といたしましては、新治南528号線は延長370メートル、幅員4.00から7.50メートル、新治南529号線は延長362メートル、幅員4.60から7.50メートルとなっております。つづきまして39ページをお願いいたします。つぎに、虫掛67号線でございます。こちらの認定も県道小野土浦線バイパス整備工事に伴うもので、場所につきましては、虫掛地内の常磐自動車道の東側から田圃の中を通り、都市計画道路常名虫掛線の計画地を通り、虫掛66号線の起点までの県道で、この区間を茨城県から引き継ぐための認定でございます。路線の概要でございますが、延長1,063.70メートル、幅員3.50から16.20メートルとなっております。つぎに、真鍋四丁目13号線と中村南五丁目10号線でございますが、この2路線につきましては、いずれも、開発行為により新設された道路でありまして、道路側溝が敷設され、舗装も完了しております。40ページをお願いいたします。真鍋四丁目13号線でございますが、土浦市立第二中学校の北側に位置します真鍋四丁目地内におきまして、香陵住販株式会社によります開発面積

約2,890平方メートル、9区画の宅地分譲予定地内に幅員6.0から9.0メートル、延長61.91メートルの市道を認定するものでございます。つづきまして、41ページをお願いします。つぎに、中村南五丁目10号線は、中村小学校の東側に位置します中村南五丁目地内におきましてトヨタウットユーホーム株式会社によります開発面積約2,860平方メートル、11区画の宅地分譲予定地内に幅員6.0から9.00メートル、延長89.11メートルの市道を認定するものでございます。以上の5路線の市道認定につづきまして、よろしくお願いいたします。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御質問、御意見はありますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 では、お諮りします。議案第46号市道の路線の認定については、原案どおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○平石委員長 御異議なしと認めます。よって議案第46号は、原案どおり決しました。つづいて、議案第47号市道の路線の変更について、説明願います。

○浅岡道路管理課長 道路管理課でございます。42ページをお願いします。議案第47号市道の路線の変更につづきまして御説明いたします。恐れ入りますが、43ページをお願いします。変更路線につづきましては、市道I級16号線の1路線でございます。44ページをお願いします。こちらの変更につづきましても県道小野土浦線バイパス整備に伴うもので、現在の小野土浦線の一部を茨城県から引き継ぐことからI級16号線の認定延長を2,675.36メートルから3414.68メートルに変更するものです。点線区間が変更前で実線区間が変更後の区間でございます。以上、1路線の認定変更につづきまして、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御意見、御質問はありますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 では、お諮りします。議案第47号市道の路線の変更については、原案どおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○平石委員長 御異議なしと認めます。よって議案第47号は、原案どおり決しました。つづいて、報告事項となります。サイドブックスをお戻りいた

だき、産業建設委員会、令和4年、6月20日、①入札案件についてをお開きください。それでは、入札案件について、順次、説明願います。

○飯泉都市計画課長 都市計画課でございます。入札案件につきまして、説明をさせていただきます。産業建設委員会資料の①入札案件についてをお願いいたします。それでは、表紙をおめくりいただきまして、2ページをお願いいたします。委託件名、スマートインターチェンジ設置検討調査業務委託につきまして、説明をさせていただきます。スマートインターチェンジに關します本年度の作業内容につきましては、3月の産業建設委員会で御報告いたしました検討結果を踏まえ、予備設計及び整備効果の検討、実施計画書(案)の作成など、設置に向けて必要な資料の作成を行うものでございます。つきまして、3ページをお願いいたします。ただ今のスマートインターチェンジ整備に向けた検討を行う中、委託件名、現況平面図作成業務委託といたしまして、予備設計等に必要となるスマートインター周辺の現況平面図作成を行うものでございます。スマートインターチェンジにつきましては、今後も、適宜、産業建設委員会の皆様に御報告を行いながら検討作業を進めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。説明は、以上となります。よろしくをお願いいたします。

○福澄都市整備課長 都市整備課でございます。都市整備課で報告させていただく入札案件の一つ目は、6月22日執行の指名競争入札案件で、土浦駅東西駐車場長寿命化計画策定業務委託でございます。委託内容ですが、駐車場の中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を実現しつつ、将来にわたりサービスと機能を確保するため、施設の老朽化等の状況を把握して、施設整備の具体的な基本方針と実施計画を策定するものです。サイドブックス5ページをお願いいたします。6月22日執行の指名競争入札案件で乙戸水生植物園花菖蒲植栽業務委託でございます。内容ですが、位置図に記載のエリアで、堀取り、株分け、植付けという一連の作業を行い、開花を促すものです。この作業を行わないと株は大きくなりますが、花を咲かせなくなることから3年に1度、必要な作業となります。説明は以上でございます。

○櫻井建築指導課長 建築指導課でございます。同じくサイドブックスの6ページをお願いいたします。土浦市宅地耐震化推進事業大規模盛土造成地調査委託は、平成29年に3,000平方メートル以上かつ2メートル以上の谷埋め盛土又は勾配が20度以上かつ5メートル以上の腹付け盛土が行われた盛土造成地の把握をするため、第1次スクリーニングを実施し、183か所

の調査対象地を抽出し、大規模盛土造成地マップ等を作成して公表しております。今回その183か所から、国の判定基準に基づき、更なる調査が必要である4か所の中高津二丁目、神立町、真鍋四丁目、永国について調査を行うものであります。この調査の結果によっては、更に詳細な作業を行う第2次スクリーニングを実施しなくてはなりません。その際には、また委員会に報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○**浅岡道路管理課長** 道路管理課でございます。道路管理課の入札案件につきましては、11件でございます。7ページから30ページまでの10件につきましては、毎年実施しておりますI級市道などの主要幹線道路や常磐自動車道、国道6号バイパスの側道における路肩や法面などの草刈業務の委託でございます。つづきまして、31ページをお願いいたします。右靱【Ⅷ】【Ⅸ】地区地籍調査事業測量業務委託でございます。委託の場所につきましては、西は県道土浦竜ヶ崎線、北は国道125号バイパスで囲まれた右靱小学校の東側、右靱【Ⅷ】地区、面積0.15キロ平方メートル右靱【Ⅸ】地区、面積0.12キロ平方メートルにおきまして、一筆地調査や細部測量、地積測定及び地籍図作成等を実施する業務委託でございます。道路管理課の案件につきましては以上でございます。

○**草間道路建設課長** 道路建設課でございます。ひきつづき、御説明いたします。道路建設課の入札案件につきましては、1件でございます。次のページ、サイドボックスの32ページをお願いいたします。市道真鍋21号線改良工事でございます。工事の場所につきましては、赤池の南西側に位置する真鍋四丁目地内の生活道路でございます。工事の概要としましては、延長110メートルの区間におきまして、現況幅員約1.8メートルの道路を計画幅員4.0メートルに拡幅改良するもので、道路側溝を敷設し、舗装を整備する工事でございます。道路建設課の案件につきましては、以上でございます。

○**滝田下水道課長** 下水道課でございます。ひきつづき、33ページをお願いいたします。R4都下維（工）第2号及びR3都下維（工）第6号永国西都市下水路管渠更生工事でございます。この工事は、昨年度からの継続事業でございますが、令和元年度に道路陥没が発生した状況を受けたことによる工事でございます。概要としましては、既設の鉄製コルゲート管1200メートルメートルを更生し930メートルメートルの管を形成するもので、延長80.3メートルを行うものでございます。つづきまして、34ページをお願いいたします。公下維（工）第14号川口ポンプ場No.11雨水ポンプオーバーホ

ール工事でございます。この工事は、川口ポンプ場で稼働中の雨水ポンプ4台の内の1台を分解整備する工事でございます。前回のオーバーホールが平成12年であり20年以上が経過していることから実施するものでございます。下水道課からは、以上でございます。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御意見、御質問はありますか。

○柳澤委員 5ページの花菖蒲の予算が年々減っているように感じるが、今回の補助で中間補助が出ているね。全部で240平米か、これは、どういう理由で休ませるのだろうか。

○福澄都市整備課長 このエリアは、3年に一度植えるために、3地区に分けてあります。

○柳澤委員 いや、聴いているのは、240平米を休ませる理由なんだ。病気なのか、何か事情があるのか。よく聴いてな。何で休ませるのでしょうかという話だよ。

○福澄都市整備課長 すみません、十分把握しておりませんので、後ほどご報告させていただきたいと思えます。

○柳澤委員 委員会では、こういう質問は想定されるんだから、前もって調べておくんだよ。それと、もう一点。今は、腰痛でできないんだけども、昔、公園緑地課のときに始まって、その時は、俺も3年くらいは泥だらけになって、はいずりまわった。調整池の周りを花菖蒲でいっぱいにしたかったが、当時の五頭副市長は、金がないから、これくらいで我慢してほしいとのことだった。やはり、年々増やしていったらどうなんだろう。そして、これも当初からの話だが、咲き終わった花を摘んでいかないといけない。ボランティアを募るとの話があったが、看板や市の広報、ホームページで募集しているのか聴くんだけど、少なくとも乙戸周辺では見たことはない。新任の課長だから、あなたの責任じゃないんだけど、その前の時代。ここにもいるなあ、その時の課長。やっぱり、実行してくれないと。花が好きという人が5人でも10人でも協力してくれる状況になれば、十分に可能性があることだと思うんだよね。佐原にも引けを取らないような菖蒲園がつかれるんじゃないかなあ。行政としては、真剣にやってほしいんだよな。よろしく。

○福澄都市整備課長 ボランティアを募るとのことなど、行っておりませんでしたので、ホームページ上の掲載など、できる限りのことを行ってまいりたいと思えます。

○内田委員 柳澤委員のボランティアという話なのですが、気になったこと

があって、最近、植えた木の前に枯草を積んであるのですが、あれはボランティアの人がやっているのかな。

○福澄都市整備課長 申し訳ありません。後ほど確認させていただきます。

○内田委員 それがボランティアなら、そういうところをお願いするのも案かなあとと思います。

○柳澤委員 もう一つ、公園街路課がなくなったのは、いつからだっけ。公園というものの存在を、土浦は軽く見過ぎていないかい。公園と名の付く課があったって、できていなかったのだから、ますます公園から意識が遠ざかってしまいます。市民は公園を求めているんだよ。うちの女房なんかも、岩手が実家なんだけど、土浦にはいい公園があるんだねと。乙戸沼は、水郷公園よりは小さいかもしれないけど、あっちのほうの人は、けっこう利用しているのさ。だから、もう一回公園街路課を戻せとは言わないけれど、しっかり見てやってよ。

○内田委員 我が意を得たりという発言でした。副市長は公園専門なんだよな。この機会をもって、考えていただきたい。公園っていうのは、感性なんだよ。ぜひ片山副市長には、せっかく土浦に来ていただいたので、よろしくをお願いします。

○片山副市長 ありがとうございます。基本的には、私もお二人の意見に賛成でございます。私自身も公園行政に長くおります。先日、水郷公園、乙戸沼公園に行ってみりました。花というのは、集客力のあるもので、個人的に整備をしたほうがいいのかと思うところもありましたので、そこは予算との兼ね合いですが、柳澤議員の御提案のようにボランティアですとか、制限のある中でも、考えられる手段をトライしたいと思いますので、また御提案がありましたら、よろしく願いいたします。

○柏村委員 昨日は筑波実験植物園へ行ってきて、あそこは膨大な広さで、全ては見ることができなかつたけれど、見事でした。まだ行かれていない人は、どうぞ。

○平石委員長 はい、ありがとうございます。そのほか、ございますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 つづいて、工事発注状況報告については、説明を省略いたしますので、各委員におかれまして、御覧いただきますようお願いいたします。つづいて、その他です。(1)プレミアム付商品券発行事業業種別売上及び販売状況について、説明をお願いします。

○沼尻商工観光課長 商工観光課です。委員会資料③のプレミアム付商品券

発行事業業種別売上げをお開きいただき、2ページをお願いいたします。先の委員会にて、御意見いただきました件、資料をまとめてまいりました。これまで実施したプレミアム付商品券の業種別の売上げと販売状況でございます。上の箱は、前回どのような業種で使われていたかが見える表でございます。上の箱は、前回どのような業種で使われていたかが見える表でございます。トップ5ですが、1番多かったのは、スーパーやドラッグストア、コンビニでの食料品などが、約30パーセント近く利用されておりまして、次にイオンモール土浦でのご利用が、24.4パーセント、3位以下は、ファミレス、居酒屋、ラーメン屋、それから農協直売所、ホームセンター等のサービス業から、その他、家電、運送、美容など、多種多様な場面で使われております。このように、コロナ禍において第1弾、第2弾とプレミアム付商品券を発行してまいりましたが、回数を重ねるごとに、加盟店も増え、利用者も、利用慣れされたと言いますか、一つの大型店舗にのみ、集中することなく、様々な業種にまんべんなく使われております。また、下の箱でございますが、こちらは過去の商品券の事業概要でございます。直近実施した5回分でございますが、上から順に見ていきますと、平成27年には、販売額1万円でチケット額が1万2,000円のプレミアム20パーセント、その内容は、どこでも使える共通券が4,000円と、一般商店限定の8,000円、発行数は、5万5,000冊、発行額は6億6,000万円、販売率100パーセント、換金率は99.7パーセントで、参加された加盟店は、630店舗でした。平成28年、平成29年度は、販売額1万円に対しまして、チケット額は1万1千円のプレミアム率10パーセント、販売数は、平成28年度は2万冊、29年度は1万5,000冊です。令和に入り、2年度、3年度は、コロナ対策としての地方創生臨時交付金を活用した事業として、記憶に新しいと思いますが、令和2年度は、1万円を出すと1万5,000円分の商品券、令和3年度は、ついにプレミアム率100パーセントとしまして、1万円出して2万円の商品券として、市内全世帯を対象として約6万8,000世帯を対象としたものでございます。発行総額、換金額を見ていただきますと、いずれも10億円以上のお金が、土浦市内で動いたといったこととなりますので、プレミアム付き商品券の発行は、消費喚起を促す起爆剤になっており、相当の経済効果を生み出してきたものと思われま。説明は以上でございます。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御意見、御質問はありますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 つづいて、(2) 県道小野土浦線バイパス整備について、説明をお願いします。

○浅岡道路管理課長 道路管理課でございます。前回の事前委員会で御意見がありました県道小野土浦線バイパス整備につきまして御説明いたします。2ページをお願いします。位置図にて説明させていただきます。位置図中央の緑色の線が県道小野土浦線バイパスの計画線です。旧国道125号のパープルライン入口交差点から畑総事業地内を經由し、終点側、りんりんロード付近の新治南314号線までの延長約1.6キロメートルで、本年度は先ほど認定の際に御説明させていただきました田圃区間、写真①と記している箇所約380メートルの改良工事を実施するとのことです。3ページをお願いします。田んぼ区間の現況写真でございます。現在は盛土をし、圧密をかけている状況ですが、盛土を撤去し、平面交差で暫定供用をするとの事です。2ページの位置図の写真②と記している箇所から北方面の区間でございますが、畑総区間を含む旧125号までの延長約1,240メートルの区間ですが、2027年完成の予定で進めていくとのことで、本年度は伐採伐根工事を実施するとのことです。4ページをお願いします。写真②と記している箇所の完成平面図と断面図で、緑のラインが小野土浦線バイパスで青のラインが現在の小野土浦線です。完成形は立体交差になり、別工事の写真でございますが、イメージとしてこのような仕上がりとなります。朝日トンネルから南下してくるオレンジの県道小野土浦線から御説明いたしました小野土浦線バイパスを経て、虫掛66号線・新治南314号線までつながり、将来は虫掛66号線・新治南314号線の一部が県道になり、この通りが県道小野土浦線となる予定でございます。説明は以上でございます。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御意見、御質問はありますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 つづいて、(3) 市道虫掛66号線の供用開始について、説明をお願いします。

○草間道路建設課長 道路建設課でございます。市道虫掛66号線の供用開始について御説明いたします。サイドブックの資料⑤、市道虫掛66号線の供用開始についてをお開き願います。昨年度、用地買収が全てまとまり、その後発注しました虫掛地内の改良工事につきましては、完了の見通しが立ちましたので、その供用開始について、御報告するものでございます。大きい2番、供用の日時でございますが、資料に記載のとおり、7月22日金

曜日の11時を予定しております。なお、資料に記載はございませんが、同日の午前10時より安全祈願式典を予定しております。委員の皆様にも御出席願いたいと考えておりますので、こちらにつきましては、後日改めて文書で御案内申し上げます。3ページをお願いいたします。こちらが位置図でございます。今回供用する道路は、赤線部の箇所、延長452メートルでございますが、これにより、合併特例債を充当して整備してまいりましたつくば霞ヶ浦りんりんロード藤沢休憩所付近の県道藤沢荒川沖線から、りんりんロード沿いを通り、虫掛地内の県道小野土浦線までの延長約3.6キロメートル全てが通行できるようになり、旧新治地区と土浦地区とのアクセス性向上や、利便性向上、移動時間短縮が図れるものでございます。なお、供用開始の公表につきましては、来月7月4日月曜日の定例記者会見の席で、安藤市長から発表の予定としておりますので、委員の皆様におかれましては、この情報についてはそれまで伏せておいていただきたいので、何卒よろしくをお願いいたします。市道虫掛66号線の供用開始についての説明は、以上でございます。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御意見、御質問はありますか。

○柏村副委員長 安全祈願っていうのは、いつからやっていて、どちらに頼んでいるのですか。

○柳澤委員 安全祈願なんか必要ないってことか。

○柏村副委員長 そうです。いつもやっている古いものだからね。

○寺内委員 事故のないようにって執行部がやってもらっているんだから、いいじゃないの。

○平石委員長 よろしいでしょうか。

(「いいよ」との声あり)

○平石委員長 つづいて、(4)公共下水道管渠調査に基づく対策工事について、説明をお願いします。

○滝田下水道課長 下水道課でございます。⑥公共下水道管渠調査に基づく対策工事についてをお願いいたします。2ページをお願いします。事前委員会で公共下水道管渠調査の結果について御報告いたしました。その後の工事予定について御報告いたします。前回提出した資料の抜粋でございますが、速やかに対策が必要な管渠は、11スパンで延長379メートル、今年度整備予定箇所は、7スパンで延長284メートルでございます。今年度整備予定でない4スパンの内、1スパンは整備済みであり、残りの3スパンについ

ても、後ほど位置図で御説明いたします。2番、計画的に対策が必要な管渠は、239スパンで延長8、000メートル、今年度整備予定箇所は、11スパンで延長481メートルでございます。また、下の円グラフが調査結果であり、62.6パーセントが対策不要な管渠でございますが、37.4パーセントの対策が必要な箇所であることが判明いたしました。対策の工法ですが、布設替えや管更生が考えられますが、現在は、交通の影響が少ないことや掘削する必要のない管更生を多く採用しております。3ページをお願いします。こちらが、全体の位置図でございます。3か所の枠で囲まれている所の詳細な位置図がございますので、4ページをお願いします。詳細な位置図でございます。場所は旧市内がほとんどで、青の実線が整備済みで、赤の実線が今年度整備予定箇所、緑の実線が来年度以降に整備予定が確定している箇所でございます。右上の緑の線流域下水道付近が先ほどの3スパンのうち、2スパンでございます。速やかに対策が必要な管渠ではございますが、荒木田線は、道路拡幅の予定もあることから移設も視野に入れながら協議を進めていきたいと思っております。5ページをお願いします。土浦北インター付近となります。ほとんどが今年度整備予定箇所となっておりますが、先ほどの整備済の1スパンが土浦北インターの西側でございます。6ページをお願いします。国道6号の原の前交差点付近の緑色の実線が残りの1スパンとなります。このスパンは、流域下水道の幹線に接続するスパンとなっております。下水道課は、以上でございます。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御意見、御質問はありますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 その他、執行部から、ありますか。

○草間道路建設課長 道路建設課でございます。資料はございませんが、私から総合評価方式の入札実施予定について、御報告いたします。今年度から、予定価格が税込みで3、000万円以上となる橋梁の耐震補強及び長寿命化工事の入札につきましては、管財課において、原則、総合評価方式を採用することとなっております。今回、道路建設課において板谷六丁目地内の国道六号に架かります国道六号10号橋の耐震補強及び長寿命化工事を起工したところ、管財課におきまして、総合評価方式の入札を行うこととなり、6月27日月曜日に入札公告予定、7月20日水曜日に入札予定であると、管財課より報告を受けましたので、委員の皆様、御報告するものでございます。道路建設課からの報告は以上でございます。

○平石委員長 執行部からは、よろしいですか。

○船沢都市整備部長 執行部からは、以上でございます。

○平石委員長 委員の方からは、その他、ございますか。

○柳澤委員 この前の一般質問のときに、鈴木議員が聞いた件はどうなんだ。現実問題はもう手詰まりか。亀城モールはどういう目的で作ったのか見えないんだけど、せっかく金かけて作ったんだから、活用したらいいんじゃないかと会派代表質問でもしたんだけど、例えば骨董市とか朝市とかを行政が積極的に仕掛けてはどうか。那珂市の一乗院に行ったことがあるんだけど、賑わっていた。お寺じゃなくて、商売でやってる人が仕切ってるんだけど、結構な人出だった。それは、毎月初めに茨城新聞で掲載されるんだけど、そういうふうに、積極的に行政が関わっていったほうがいい。せっかくお金を使って作ったのだから、活用したほうがいいと思う。花火だって1年に1回でしょう。毎月やるものは効果があるよ。問題は駐車場で、周りに民間の駐車場があるんだよな。あれを市が借り上げるとかのバックアップしてやれば、うまくいくんじゃないかな。船沢部長、あんたが親分だろ。真剣に考えてくれないかな。もったいないからさ。

○船沢都市政策部長 イベントも使っていただける仕組みなどを検討しているところで、活用できるよう考えているところでございます。

○沼尻商工観光課長 柳澤委員から一乗院の話も頂戴しまして、まず現場を見てこようと思います。活用方法ですけれども、きらら祭りでは、会議所のほうがメインで、出店ですとか、あとミニSLみたいなイベントなどやりますとか。御指摘のとおり年1回となっていますが、駅前ではマルシェもやっておりますので、そういったところにも相談してみたりしながら研究してまいりたいと考えております。

○柳澤委員 3月の代表質問の時も言ったけど、いつでもどこかで何かやっているように、こちらが演出してやらないと、行ったってしょうがないと思われる。あなた方職員は大変だと思うけれど、一生懸命、皆でやろうよ。以上です、よろしく。

○内田委員 カルチャーショックという言葉がありますが、昨日まで知らなかったのですが、茨城県は日本で一番キャンプ場が多い県だということで、驚きました。土浦市は、茨城県じゃないみたいだ。新治でこないだ、やっとグランピングができましたけれど、ショックでした。柳澤議員もよく言われますが、行政は、キャンプ場を作ったら酒を飲んで大騒ぎする者が増えるからと言う。お役所の人がそう言うと、そこで議論が止まっちゃうんです。私

は、これは土浦の恥だと思う。片山副市長には、是非これをぶち破ってもらいたい。あと一つ、通称、私が勝手に付けました「石田山」。汚水処理場の横にある山で、あれは汚水処理場を作ったときの土砂が山になって残っている。私は、あの土は財産だと思っています。これを例えば、土地改良に活用するとか。例えば、文教厚生委員会の5中の反対運動になっているところだって、埋まっちゃうよね。要は、そういうことで、あれを土浦市の財産なんだという発想、意識を持ってもらいたい。今日じゃないけど、あの土砂はどういう経緯があったものなのか、説明してもらいたい。なぜなら、私が議員になる32年前にはもうあったもので、おそらく四、五十年前になるんじゃないだろうか。そういう思いがあったので、長い時間をもらって、お話ししました。もしも感想があればお願いします。

○**渡辺建設部長** ちょうど明後日、流域下水道事務所のほうへ、課長で行くことがありますので、経緯について聞き、報告させていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

○**片山副市長** 特定の地区の公共残土ということだけでなく、一般論として、全国的に残土の性質によりますが需要はありますので、有効に活用できればと思います。りんりんポートなども駐車場として利用して、帰られてしまうように見えて、一例ではありますが、もったいないなと思います。ホテル以外にも土浦に滞在するような選択肢があればと思いますので、キャンプ場をどこに作るかといったピンポイントな話ではありませんが、土浦の可能性を高めていくようなことを検討してまいりたいと思います。

○**内田委員** 最後に小さいこと言います。りんりんポートの芝生張ったところ、こないだ雑草だらけで市民として恥ずかしかった。以上です。

○**寺内委員** さっき柳澤委員が言ったイベントっていうのは、昔はまちなか元気市ってやって、骨董市とかフリーマーケットとかでお客さんも来たんだ。まちなか元気市は、年に2回か3回はやっていたかな。それ以降、あとは民間でやってくれってなってから、ぱったりお客さんが来なくなっちゃったから出店もなくなった。民間の駐車場を負担してまでお客さんは来ないから、役所が手を差し伸べると、違うんじゃないかな。駅の東口やら西口の駐車場からは遠いから、やっぱり近くの駐車場が使えないと。やるときには、そういうことを考えてやらないといけない。産業祭なんかは、実費で来てくれているんだから。以前、駐車場組合さんで無料にしたことがあるんだよ。そのときは、嫌というほど、お客さん来たよ。だから、皆でまちを盛り上げることを考えたら良いと思う。答弁はいいから、前にそういうことがあったのに

継続しなかったことがあったことを知っておいてほしいのよ。以上です。

○内田委員 スマートインターチェンジの話。さっきしておけばよかった。スマートインターチェンジは土浦境線のお話でした。一方、私は何年も前から何回か一般質問しています。要は二者択一という考え方でなく、丁度、境線と大曾根線の間なんだよね。市民とすれば、両方に繋がるアクセスを考えてほしい。そういったことをお願いしておきます。

○船沢都市政策部長 ただ今の二つの主要道路の距離は短く、両方のメリットを取れるよう検討してまいりたいと考えております。

○柳澤委員 りんりんポートとまちづくりの話がありましたね。私の事務所は小松にあるのですが、隣にブラックバス専門の釣具屋さんがあって、関東でも有名らしい。こないだも「月刊釣人」に霞ヶ浦のバスポイントが掲載されて、桜川とかも入っているんだけど、市外から来る釣り人は、車を停める場所がなくて困っていると。今、りんりんポートの駐車場も使われてると思うんだけど、あそこにレンタサイクルを置いて釣り人に使ってもらったら、楽しんでもらえるんじゃないかな。バスをやってる人は、お金持ちも多いから。あれ、誰だっけ、いい男の俳優、彼なんかは、うちの事務所の脇のほうに来るんだって。今まで以上に、いろんな方面から土浦に来てくれるんじゃないかな。

○沼尻商工観光課長 昔は、バスのトーナメントでプロの方が来てくれたり、賑わいがありました。釣り人は多く、花火のときもいらっしゃったりしてまして、お断りしたこともあったくらいです。そういった釣りポイントですので、レンタサイクルと連動させたりなど、検討させていただければと思います。

○勝田委員 寺内委員と柳澤委員のお話に、そのとおりでということがありまして、先日、TXの署名活動のときに、ある方からサイクリングを重視していて、釣り人に冷たいんじゃないかという話がありました。何が冷たいかというと、ポイントの側に駐車場がないんだと。それで、レンタサイクルもいいでしょうし、駐車場を確保できるようにするというように考えていただけたらと思います。WBSが主催してバスの大会をやりましたよね、1995年、1997年だったかな。しかし下火で継続はできず、もったいないと思いました。いかに土浦に滞在していただくか、資源の一つとして釣りの方も自転車の方も大事にさせていただきたいと思います。まちかど元気市についても、私も一緒にやっておりました。これは、桜まつり、キララ祭り、花火などの大きなイベントの合間に、毎月やることが大事だという観点だったのは

ずなんです。最初は人も来ていましたが、だんだん廃れてしまいました。事業者が自らやれる場所と、商店街が大きすぎて一人ではできないところがあるんです。市民やNPOとの協働もいいのですが、事業者じゃないと毎月やるのは難しい。もう一度、事業者の若い人たちを大事にして、行政のほうで突っ込んで、主体的にやっていただかないと続かないと感じました。続けて行うこと、寺内委員の言った駐車場のことを考えるなど、御検討いただけると思います。

○沼尻商工観光課長 まちかど元気市ときは、私は一番下でやっておりまして、盛り上がったのですが続かず、行政が底上げすることもできませんでした。ある程度いけるところまでは、行政が主導することが大事なのだと思います。

○柏村副委員長 備前川も釣りの人気がすごい。あと、霞ヶ浦医療センターでは、入札するものがいなくなって、次が決まっていない。当初は高齢者向きの何かを作る話もあったのですが、それは、おしゃかになったようです。以上です。

○平石委員長 委員の皆様から、様々な御意見、御提言がありました。私も、それらが実現したら、土浦がどんなに素晴らしいことになるのかと、わくわくしながら聴いておりましたので、どうか、具体的に御検討していただくようによろしくお願いします。それでは、執行部の皆様は、御退出いただいて結構です。お疲れ様でした。委員の皆様は、このままお待ちください。

(執行部退席)

○平石委員長 つづいて、各種委員の選出についてです。土浦市都市計画審議会委員を1名選出をお願いします。任期は、令和4年7月1日から令和6年6月30日までで、これまでは、柏村副委員長にお願いしているものです。いかがいたしましょうか。

(「続けてやったら」との声あり)

○柏村副委員長 分かりました。

○平石委員長 それでは柏村副委員長、よろしくお願いします。つぎに、TX土浦延伸の誘致に関する調査特別委員会委員でございます。こちらは、3名の選出でございますが、いかがいたしましょうか。

○内田委員 はい、やりたいです。お願いします。

○寺内委員 おれもやっか。

○勝田委員 はい、お願いします。

○平石委員長 それでは内田委員、寺内委員、勝田委員、よろしくお願いします。

ます。以上で、産業建設委員会を閉会します。長い時間お疲れ様でございました。